

# 新人用係学科 ラジオ係篇 ( + $\alpha$ )

Powered By T<sub>E</sub>X

## ラジオ係の仕事

### (1) 木曽川での仕事

朝 バッテリー、ラジオ本体等道具 (R/W 用) をすべて忘れず R/W にもっていく。

朝 (R/W) ピストラジオの開局 (「あっ」という間もなく終わる)。等々

夕 (R/W) ピストラジオの閉局 (これもあっという間もなく終わる)。等々

R/W からラジオ本体、バッテリー等を宿舎にもって帰ってくる。

夕 ~ 就寝 バッテリーの充電、ラジオ本体の断線 (あれば) 等の修理

その他宿舎での仕事 無線業務日誌の記入

### (2) 大野での仕事

クラブハウス バッテリーの充電 (でもみんなで分担してやってることも)

### (3) 京都での仕事

耐空検査前 無線本体と関係書類一式を八尾空港のユニオン電業に持っていく。

(耐空検査に合わせて無線機の車検にあたる TAB チェックを行うため。)

年二回の恒例行事 電波法令集の差し替え (毎年国会で法律が改正されるから)

→ これをしないと無線が検査に通らないらしい。

番外篇... 認定ラジオ係への道...

1~2 合宿ぐらいやればいいんじゃない? 個人の技術にもよるけど

## ラジオ係の魅力

ラジオ係は合宿に絶対必要な係です。もしラジオが壊れたらグライダーは飛ばません

(待機になります)。責任重大な係ですねー。ほかの係に比べて取り扱うものが軽いので

体力不要。しかも 2003 年入学のラジオ係居ません。今なら上が空いてるから出世も早い!

しかも係の仕事をしながら半田付けとかをするので工作 (特に電子工作) が好きな

人にはたまらない! 身に着けた半田付けの技は全学共通科目物理学実験の「オシ

ロスコープの実験」で如何なく発揮されます。

以下ラジオ係とは直接関係無いが無線の免許に関する重要なお話

現在訓練のために使う (可能性のある) 無線免許

・第二級陸上特殊無線技士 → 無線業務日誌の記入 (責任者) に必要。

・航空特殊無線技士 (上級資格の「航空無線通信士」でも可、ただし難しい)

→ VHF 無線機を搭載した滑空機 (JA2333 など) でソロに出るときに必要

いずれも年数回試験が行われている (一資格につき受験料 ¥5000 位)。過去問 (本を持ってるから

コピーして) さえやれば難なく受かるのでみんなで受けてくれ。